

猛き黄金の国

道

二一

【上総介】

六

本宮ひろ志





……



近々
尾張の織田信秀が
美濃へ大規模な
出兵をして来る
……

駿河
今川殿にとって
織田を討つ絶好の
機会となりましょう

手薄になった
那古屋城を
一気に
叩き潰す事を
進言致します



その旅人は
いつか
一国を手中に
治める

縁あって
拙者の祖父正昭が
雪に埋もれし
旅人を助け出した
事があり申す



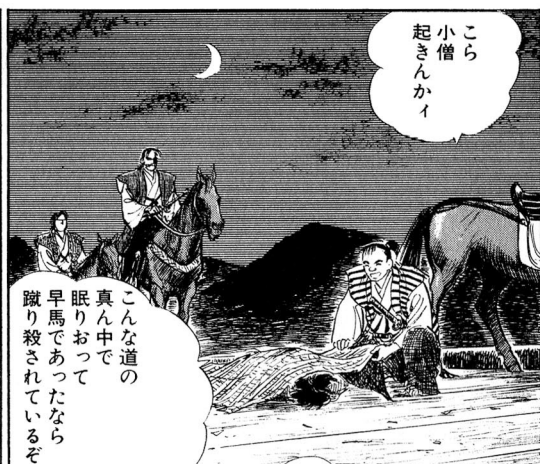
我らは
名もなき
土豪

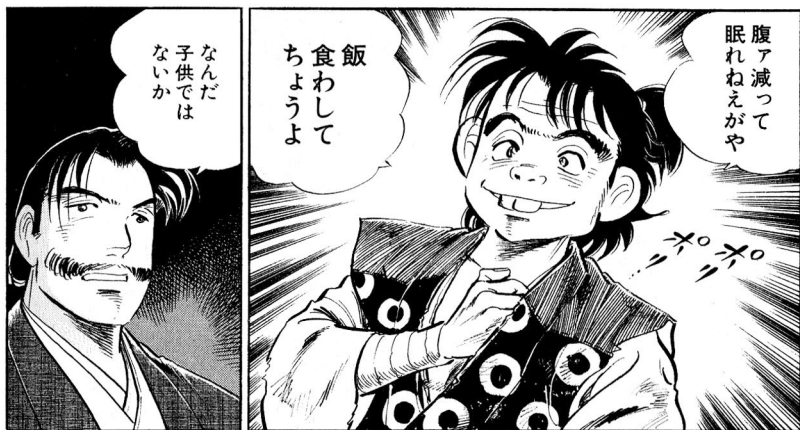
蜂須賀は
いつから美濃の
虻に取り込まれた

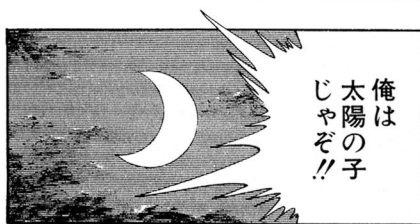




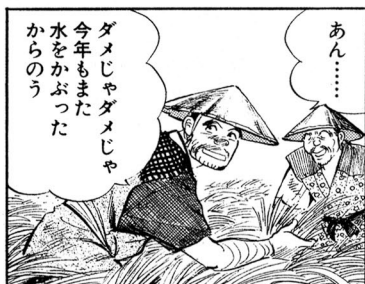
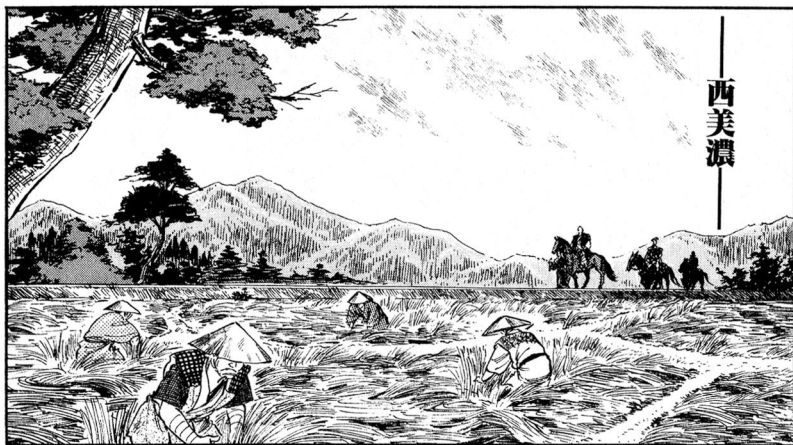








西美濃



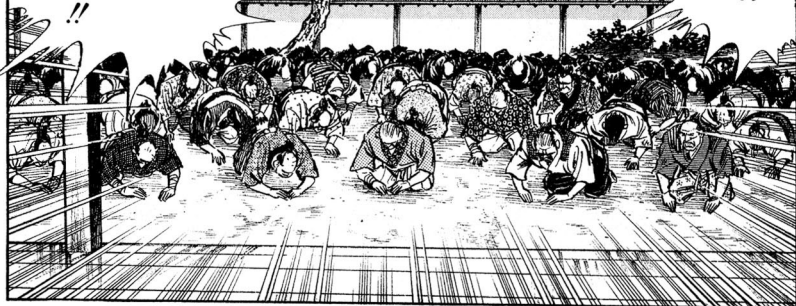






ご領主様

国主様の
言い分を
お聞き届け
下さいませ!!



国中で一番
水の被害の多い
この土地に国主様は
洪水よけの堤防を
築いてくれると
申されました

そればかりか
灌漑用水を
掘る事も
約束して
下さったのです



我々からも
お願い
致します

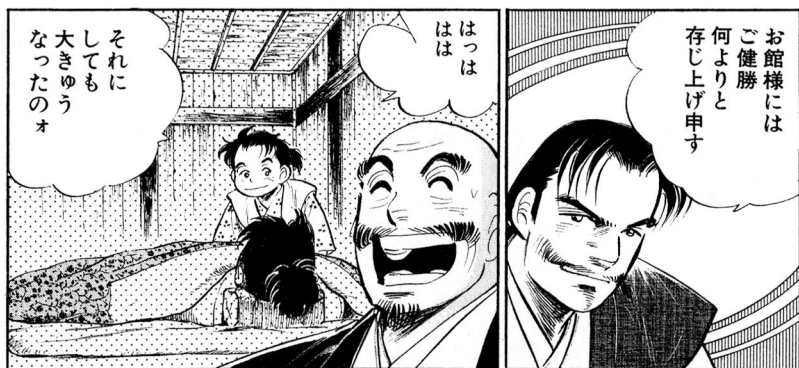
どうか
百姓達の切なる
願い叶えてやって
下され...!!





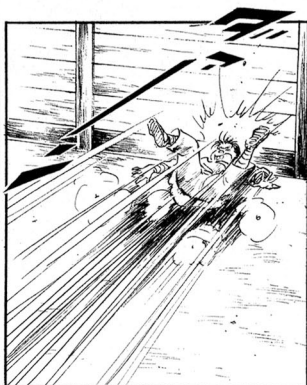












まるで
無ではない…

天下人に
なる事も

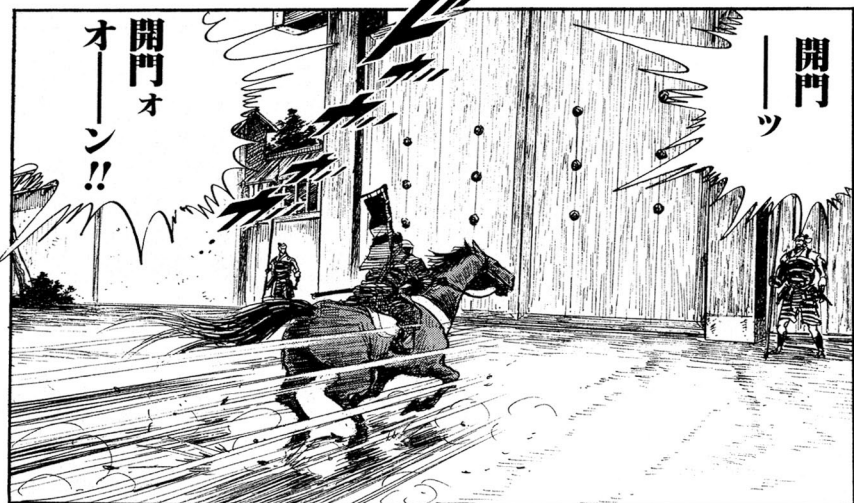


その
猿が…



小六

将来ある
若者の芽を
摘んではならん
殺すな







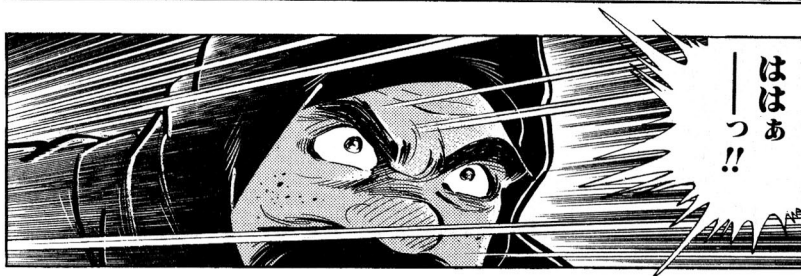
織田信秀

五千騎を
引き連れ
尾張を出陣

木曾川を
越えるものと
思われます

白雲!!
はくうん

ははあ



父上
それでは木曾川を
渡って攻めて来る
織田軍は誰が



そこまで
手が回らん
放っておく

わあはは

高政 お前は
白雲と共に
揖斐城へ
向かい



出陣

ン!!

おおおお
おおお
っ

